

2024年度年度入学生 教養科目カリキュラムマップ

【ディプロマポリシー】							
<b>【知識・技能】</b> 1-1 自らの専門領域を越え、人生社会を牽引するための知識・技術を身に付けている。 <b>【思考力・判断力・表現力等の能力】</b> 2-1 自らの専門領域を越え、問題解決を図ろうとする創造性を身に付けている。 2-2 健全な社会を維持するため、健康に留意し、健全な精神を育成する態度を身に付けている。 <b>【主体性・多様性・協働性】</b> 3-1 主体的に社会参画を果たそうとする自立心を身に付けている。 3-2 多様化が進む社会において、多様な対話力を身に付けている。							
【教養科目のカリキュラムポリシー】							
①知性や感性を磨き、学問研究や社会生活の基盤となる知識や技能を身に付け、心身の健康を育成するための科目を開講しています。 ②社会的・職業的自立を支援するために、就職活動に関する科目だけでなく、生涯にわたって自己のキャリアを築き、対話力の育成をするための科目を開講しています。 ③専門科目以外の学問領域を学ぶことにより、幅広い知識や多角的思考力および柔軟で想像性に富んだ力を身に付け、創造性に繋がるような科目を開講しています。							
分類	授業科目名	授業科目の到達目標	教養科目の学修成果 (◎＝達成のために、特に重要な事項 ○＝達成のために、重要な事項)				
			ディプロマポリシーの項目番号				
			1-1	2-1	2-2	3-1	3-2
心身の健康科目群	教育学	①将来を担う子ども達を愛情豊かに育てていくには何が大切か、どのようにすればよいのかを深く理解することができるようになる。 ②幼児教育に関する幅広い知識や多角的思考力および柔軟で創造性に富んだ思考力を身に付けることができるようになる。	◎	○			
	衣生活の知識	①衣服素材やインテリア素材に関する知識を身に付け、生活するうえで適切な取り扱いができる。 ②布を使って身の回りの小物を作ることができる。 ③衣生活や住生活をよりよくするために、工夫することができる。	◎	○			
	食事学	①「食べる」ということの根本的な意味が理解できる。 ②日常の食事作りや食材の購入、外食時に、授業で学んだ知識を実践できるようになる。		○	◎		
	食品科学	①食生活と健康について、幅広い知識を身に付ける。 ②日常生活において、食品の正しい情報を理解し選択することができる。			◎		
	体育講義	①生涯にわたり継続的に運動を行うことの重要性を理解し、自らの生活の中に取り入れることができる。 ②これらの実践に伴う知識や態度を養うことができる。			◎		
	体育実技	①スポーツやレクリエーション実践を通して体力の維持向上ができるようになる。 ②生活の中に運動習慣をとり入れ実践できるようになる。			◎		
コミュニケーション科目群	異文化コミュニケーション	①学問の最先端を彩る用語を理解することを通じて、能動的な研究姿勢を身に付けることができる。 ②言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感得し、言語表現に対する感性を鍛錬することができる。 ③相手の気持ちや内面を正しく理解できるようになる。 ④異文化理解を通じて、人間理解を深めることができる。	◎				
	心理学 I	心理学の知見や考え方をを用いて、人間の心理と行動について説明することができる。	◎				
	英会話	Those who will study this course will become more fluent and confident in using business English, which should increase their career prospects in the near future.					◎
	英語コミュニケーション(a)	①文語、口語のどちらの一方にも偏ることなく、バランスのとれた表現力を身につけることができる。 ②自身の英語力を自覚することを通じて、自然な英文とはどのようなものかについて十分理解できるようになる。 ③言葉のもつ、多様でニュアンス豊かな表現のあり方を感得し、言語表現に対する感性を鍛錬することができる。 ④自分の思いを相手にうまく伝えることができるようになる。	◎				
	英語講読(a)	①英語で書かれた内容を正しく理解するため、語彙力や文法力の補強をする。 ②英文で展開されている議論を正確に読む力を養うため、情報収集能力や論理的な能力を鍛える。 ③英米文学作品のテーマについて考察を深め、幅広い教養を養う。	◎				
	英語講読(b)	①英語で書かれた内容を正しく理解するため、語彙力や文法力の補強をする。 ②英文で展開されているストーリーを正確に読む力を養うため、情報収集能力や論理的な能力を鍛える。 ③英米文学作品のテーマについて考察を深め、幅広い教養を養う。	◎				
	フランス語 I	①正しく発音できるようになる。 ②文の仕組みを理解できるようになる。 ③挨拶や自己紹介を言えるようになる。					◎
フランス語 II	よく使われる文や表現が理解でき、現地で買い物など簡単なやり取りができるようになる。					◎	

2024年度年度入学生 教養科目カリキュラムマップ

分類	授業科目名	授業科目の到達目標	教養科目の学修成果 (◎＝達成のために、特に重要な事項 ○＝達成のために、重要な事項)				
			ディプロマポリシーの項目番号				
			1-1	2-1	2-2	3-1	3-2
コミュニケーション科目群	中国語Ⅰ	①中国語の発音と声調のマスターができるようになる。 ②日常生活中での挨拶言葉が話せるようになる。 ③自己紹介ができるようになる。 ④簡単な中国語の文章が理解できるようになる。					◎
	中国語Ⅱ	①現代中国語で使われている簡体字や文法についての知識を深め、中文を理解できるようになる。 ②将来独学ができるように基礎力を付ける。 ③中国語検定4級程度の常用語彙を身に付けるようになる。					◎
	イタリア語Ⅰ	①発音のルールを理解し、つづりを見て発音できるようになる。 ②基本的な文法事項を理解し、会話で応用させることができる。 ③自分の身の回りについてイタリア語で表現できるようになる。					◎
	イタリア語Ⅱ	①発音のルールを理解し、つづりを見て発音できるようになる。 ②基本的な文法事項を理解し、会話で応用させることができる。 ③自分の身の回りについてイタリア語で表現できるようになる。					◎
	日本語入門	①ふだん使っている日本語の基礎的な知識を身に付け、日本語の特徴を正しく理解できるようになる。 ②日本の文化や日本人の持つ感性が、日本語に与えた影響について理解し、その魅力を説明できるようになる。					◎
感性を磨く科目群	造形美術	①自分の思い描いているイメージをコンピュータ上で具現化できるようになる。 ②表現の目的を考え、伝える相手により伝わりやすい表現ができるようになる。		◎			
	芸術表現学	①芸術表現の歴史について理解することができる。 ②現代社会の中で必要な美的感覚と感性を高めることができる。	◎				
	音楽鑑賞	①音楽を聴き、そこにあるメッセージや基本的な特徴を感じとることができる。 ②感じたことを言葉や絵で表現することができる。	◎				
	日本文学	①授業で取り上げた古典文学や古典芸能の作品の魅力を知り、深く理解・鑑賞できるようになる。 ②日本の古典文学や古典芸能の作品が後世へ与えた文化的影響について見聞を広め、その価値を理解できるようになる。 ③日本古典文学史に関する基礎的な知識を身に付け、概要を説明できるようになる。	◎				
	日本の伝統文化	学ぶ、鑑賞する、体験するなど、さまざまな角度から「茶の湯」の世界を探求し、日本の美をみつめることができる。					◎
キャリアアップ科目群	キャリアへのアプローチⅠ	①短期大学生としてのスタディー・スキルを実践することができる。 ②仕事を核にしたライフデザインを描くことができる。 ③さまざまな業種や職業があり、多様な生き方の選択があることを理解することができる。 ④自分に合った職業とは何かを見つけることができる。				◎	
	キャリアへのアプローチⅡ	①就職サイトが活用できるようになる。 ②エントリーシートが書けるようになる。 ③就職試験のためのマナーとして、文書・電話・Eメールが的確に使えるようになる。 ④面接で自信をもって自己PRができるようになる。 ⑤就職のためのグループディスカッションができるようになる。 ⑥自らの希望・実力に見合った就職先を見つけることができるようになる。				◎	○
キャリアアップ科目群	数学Ⅰ	①数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的思考力を高めるなかで数学の楽しさを体感することができる。 ②いろいろな計算をとおして、数学的な事実を予測し、可能であればその予測に厳密な証明を 与えることで数学で使われる重要な技法を		○	○		
	数学Ⅱ	①データの適切な処理方法やデータの見方、また、データから導かれた情報を正確に読み、正しく理解することができる。 ②データを有効に活用するための手法を身に付け、数学的論拠に基づいて判断することができる。		○	○		
	情報A	授業を通して、次のことを目標とします。 ①Windows/パソコンのカスタマイズ、基本操作ができる。 ②ワードを使って文書処理ができる。 ③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる。 ④インターネットを適切に利用できる。	◎			○	
	情報B	授業を通して、次のことを目標とする。 ①AI・データサイエンスの必要性を説明できる ②社会で活用されているデータ・AI活用の事例を例示できる ③データの活用方法について説明できる ④データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる		◎		○	

2024年度年度入学生 教養科目カリキュラムマップ

分類	授業科目名	授業科目の到達目標	教養科目の学修成果 (◎＝達成のために、特に重要な事項 ○＝達成のために、重要な事項)				
			ディプロマポリシーの項目番号				
			1-1	2-1	2-2	3-1	3-2
社会を理解する科目群	子どもと社会	①問題提起されたテーマに関して、基礎的な知識を得るリサーチ力を培うことができる。 ②リサーチしたうえで、自分の考えをまとめ、最終発表の場で発表できる表現力を身に付けることができる。		◎			◎
	神戸学	神戸の歴史や文化について教養を深め、地域の様々な文化や歴史に興味を持ち多様な視点からとらえることができる。	◎				
	日本の生活文化	①様々な日本の生活文化について学び、昔から伝え育んできた日本の心を見直して見ることができる。 ②将来の日常生活に活かすことができるような日本の生活文化の知識を習得することができる。	◎				
	ボランティアの実践 (担当:古田 貴美子)	ボランティア活動への責任感と、社会での実践的なコミュニケーション力を身に付けることができる。				◎	
	ボランティアの実践 (担当:竹内 美貴)	①ボランティア活動に必要なとされる責任感を身に付けることができる。 ②社会で必要とされるコミュニケーション力を実践的に身に付けることができる。				◎	
	ボランティアの実践 (担当:松岡 恵)	ボランティア活動への責任感と、社会での実践的なコミュニケーション力を身に付けることができる。				◎	
	日本国憲法	憲法の原理を正しく理解し民主主義政治の主人公として振舞えるようになる。	◎				
ポ ー アイ 4 大 学 共 通 教 養 科 目 ( 臨 時 開 講 科 目 )	健康づくり・生活支援ワークショップ	(1)子育ての営みに関係する事柄が列記できる。 (2)文化について具体的に述べるができる。 (3)現代の子育ての特徴が説明できる。 (4)現代の子育ての問題、課題、解決のための対策について考えることができる。 (5)子育てについて、自分の考えを述べるができる。 (6)課題のグループワークに積極的に参加し、自分の意見を述べるができる。 (7)各ライフステージにおけるセクシュアリティの意味と課題について議論し、自己の考えを述べるができる。 (8)様々な健康レベルにおけるセクシュアリティの意味と課題について議論し、自己の考えを述べるができる。 (9)LGBTQのピアサポート活動や政策策定のアドバイスを行う当事者の語りを通して、通して、基礎的な知識や政策の動向に関する知識を獲得し、現状の課題について考えることができる。 (10)様々なライフステージや健康レベルにある人のセクシュアリティに関する支援について議論し、自己の考えを述べるができる。 (11)セクシュアリティに関する多様な考えを統合し、自己の考えを表現することができる。	◎				
	健康・生活支援指導論実習	①スポーツに関する幅広い知識と技術が習得できる。 ②健康づくりと運動との関係に関する知識を身につけることができる。 ③状況や対象に合わせた行動をとることができる。 ④状況に応じて適切にコミュニケーションをとることができる。 ⑤自分たちの考えを周囲に伝えることができる。			◎		
	人間関係づくりワークショップ	①コミュニケーションの理論やスキルを学び、身につけることができる。 ②相手の気持ちを受容し、共感することを味わい、自身や他者への気づきを深めることができる。 ③人前での発表や初対面の相手への不安や緊張をコントロールし、自信を持って自己表現できる力を習得する。 ④これまでの自身のコミュニケーションスタイルを見直し、新しい行動様式を身につけることができる。 ⑤他者とのかかわりやつながりを通して、気づきを得ることができる。 ⑥これからの人間関係づくりを肯定的にとらえ、豊かな生活を送ることができる。					◎
	地域コミュニティ入門	①地域コミュニティの抱える現代的課題の理解。 ②考える力の構築。 ③コミュニケーション能力(話す力・聴く力・調整する力)の向上。					◎
	防災・防犯入門	防犯や防災についての見識を備え、いざという時に行動できる。				◎	
	防災・防犯ワークショップ	防災・防犯活動について説明することができる。(知識) 日頃から防災・防犯に関するニュース等に関心を持つ。(態度・習慣) 防災・防犯活動における危機管理能力を身につける。(技能)				◎	
	防災・防犯指導論実習	身近な犯罪被害からの防止対策の習得、市民救命士の習得、自然災害等の原因や結果を自分で考える基礎知識を身につける。				◎	
	地域連携インターンシップⅠ	①参加したプログラムの趣旨や参加者を理解し、その意義を第三者に説明できる。(知識・態度) ②地域連携に参画して、地域の問題点を挙げるができる。(知識) ③活動内容や目的、自身はどのように貢献できたかを、客観的に評価し、表現できる。(技能・態度) ④連携事業の多様なプログラムへの参画や自主活動を通して、新たに企画をたてる際の手順を学び、説明できる。(知識・技能)				◎	
	地域連携インターンシップⅡ	①参加したプログラムの趣旨や参加者を理解し、その意義を第三者に説明できる。(知識・態度) ②地域連携に参画して、地域の問題点を挙げることができる。(知識) ③活動内容や目的、自身はどのように貢献できたかを、客観的に評価し、表現できる。(技能・態度) ④連携事業の多様なプログラムへの参画や自主活動を通して、新たに企画をたてる際の手順を学び、説明できる。(知識・技能)				◎	
	卒業要件単位外自由科目	インターンシップ (担当:福井 愛美)	①企業等での実習・研修体験を通して、社会性や価値観を養い、自分なりの「働くこと」に対する考えを持つことができるようになる。 ②授業で得た知識を社会で生かすことができる。 ③実体験によって、主体的な職業選択能力を高めることができるようになる。				◎
インターンシップ (担当:大串 美沙)		①企業等での実習・研修体験を通して、社会性や価値観を養い、自分なりの「働くこと」に対する考えを持つことができるようになる。 ②授業で得た知識を社会で生かせることができる。 ③実体験によって、主体的な職業選択能力を高めることができるようになる。				◎	○
インターンシップ (担当:大西 眞弓)		①企業等での実習・研修体験を通して、社会性や価値観を養い、自分なりの「働くこと」に対する考えを持つことができるようになる。 ②授業で得た知識を社会で生かせることができる。 ③実体験によって、主体的な職業選択能力を高めることができるようになる。				◎	○